

荒川の豊かな自然「三ツ又沼ビオトープ」は、流域の学校や園、企業や団体などが関わることで、守られています。2021年11月～12月に行った皆さんの取り組みをご報告します！



『荒川の草花を育てようプロジェクト』は、三ツ又沼ビオトープを在来種の花でいっぱいにするための活動です。近隣の学校や家庭で三ツ又沼の在来植物を育ててもらい、取れた種を三ツ又沼にまくことで、在来種の花を増やしています。

## 荒川の草花を育てようプロジェクト

### しののめキッズパーク保育園



三ツ又沼ビオトープの活動や自然体験の大切さについて講話

### 11月13日 職員研修とフィールドワーク

しののめキッズパーク保育園にて、保育士の方々に三ツ又沼ビオトープの活動や自然体験の大切さについて講話を行いました。

園庭ビオトープには様々な植物が見られます。この特徴を生かし「葉っぱじゃんけん」をしました。集めた葉っぱを出し合った後、進行が「大きい葉っぱが勝ち」等とルールを決め、勝敗が決まります。葉っぱの大きさや色、形などを指定することで、五感を用いて植物を楽しむことができます。皆さん楽しんでくれて、翌日には子どもと葉っぱじゃんけんを遊んでくれたようです。



園庭ビオトープの植物を用いた「葉っぱじゃんけん」

### 12月9日 種のお返し式

荒川の草花を育てようプロジェクトで育ててもらっているユウガギクの種取りと種のお返し式を実施しました。園庭ではユウガギクが咲きほこり、多くの種ができたので、これを子どもたちと協力して集めました。種はとても小さく、集めるのに少し苦戦していましたが、わずかな時間でたくさんの種を集めることができました。



種を集めている様子



集めたユウガギクの種



# パートナーシップにより進められる三ツ又沼ビオトープの保全管理

埼玉県立いずみ高等学校

## 11月17日、26日 「湿地の掘りかえしと竹林の管理」



湿地の掘りかえし作業



竹の伐採



竹の枝払い

埼玉県立いずみ高等学校の生物サイエンス科の2、3年生が三ツ又沼ビオトープの管理作業を行いました。

水辺の植物には、洪水などにより土砂がまざらないと生育できない種類があります。生徒たちにクワやスコップで泥を掘り起こしてもらい、泥の中に眠っている種が芽生えやすい環境になるよう作業してもらいました。竹林の管理では、成長が早い竹が、周辺の草原や通路などに広がりすぎないように竹を切り出す作業をしてもらいました。作業が楽しかったようで、「毎日やってもいい!」という生徒もいました。次の春に、眠っていた植物が芽生えることを願っています。

学習院大学 文学部 教育学科

## 11月28日 「ヨシ刈りとワークショップ」



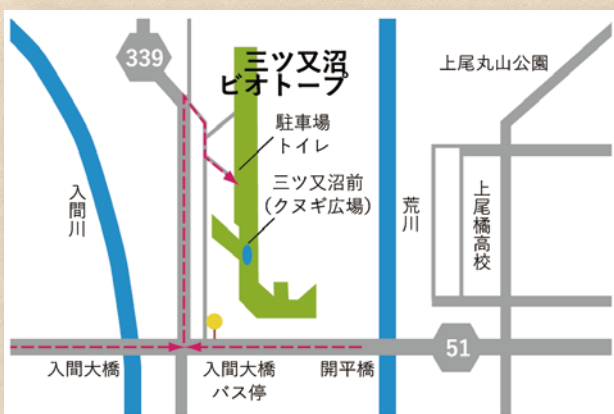
ヨシ刈りの様子



ワークショップの様子

学習院大学の学生たちがヨシ刈りの作業に参加してくれました。鎌を使って作業することが初めてとのことで、慣れない姿勢や腕の動かし方に苦しみながらも、楽しげにヨシ刈り作業をしてくれました。その中で、ヨシの葉でできたカヤネズミの巣を見つけ、ボール状に編み込まれた見事なつくりに皆さん驚いていました。

他にも三ツ又沼ビオトープが取り組んでいる学校や企業と連携した活動なども紹介し、三ツ又沼ビオトープに多くの人に関わってくれるために必要なこと、今まで参加したことのあるボランティア活動等について意見交換を行いました。



### 荒川の自然を守るボランティア募集

外来植物の除去などビオトープの自然を守る活動を行います。活動を通して、荒川の自然や生きものに触れ合えます。荒川の貴重な自然が残る「三ツ又沼ビオトープ」を共に守り育てましょう!

### 活動案内

2月12日(土) 9:30 ~ 12:00

「草原の観察と樹木伐採と外来種抜き」

生まれわたる春と旅立ち前の冬鳥たちに会いに来てください。外来種抜きもお願いします。

参加費：100円

集合場所：三ツ又沼ビオトープ 駐車場



活動詳細